

■ 大河川Q&Aの記載項目早見表

大河川Q&A 目次		凡例 ◎ 関連性が高い ○ 関連性がある	①多自然川 づくりの 基本的な 考え方	②現況評価・目標設定			③計画設計						④ 維持管理・ モニタリング
				現況評価	ビジョン共 有型の目標 設定	リファレン ス型の目標 設定	河道掘削	高水敷掘削 ・整備	引堤 ・築堤	樹木伐採 ・植樹 ・植生管理	護岸整備 ・侵食対策 ・水際工夫	堰 ・樋門樋管	
Q1-1 河川環境と調和した治水事業を實踐するための考え方を教えて下さい。	(1) 環境の目標を具体的に考える	◎	○	○	○								
	(2) 環境の保全と再生を意識する	◎	○										
	(3) 治水整備メニューの特徴を理解する	◎	○										
	(4) 環境目標を河道（空間）の計画・設計に反映する	◎		○	○								
Q2-1 治水事業において、多自然川づくりで留意すべきポイントを教えて下さい。	(1) 河道掘削（河口部以外）					◎	◎						
	(2) 河道掘削（河口部）					◎							
	(3) 樹木伐開								◎				
	(4) 引堤 築堤							◎					
	(5) 横断工作物の設置 改築									◎			
	(6) 護岸設置等								◎				
	(7) 高水敷整備						◎						
	(8) 樋門 樋管									◎	◎		
Q2-2 多自然川づくりにおいてグリーンインフラ活用のポイントについて教えてください。	(1) グリーンインフラの概要	○											
	(2) グリーンインフラの評価												
	(3) 河川や流域におけるグリーンインフラの具体例						○				○		
Q3-1 各セグメントにおける土砂動態の特徴を教えてください。	(1) 流砂系における土砂動態の全体像の捉え方		◎				◎	◎	◎				◎
	(2) 低水路の河床材料粒度分布の縦断的な変化		◎				◎	◎	◎				◎
	(3) 各セグメントにおける河道断面内での河床材料m、s、tの分布状況と特徴		◎				◎	◎	◎				◎
	(4) 各粒径集団の土砂輸送形態の捉え方		◎				◎	◎	◎				◎
Q4-1 空中写真や河川水辺の国勢調査等の既存データを用いた河川の自然環境の現況を把握・評価する方法を教えてください。	(1) 対象の考え方		◎										
	(2) 比較の考え方		◎										
Q4-2 河川環境の改善に向けた河川環境管理シートの活用方法について、具体的な事例を交えて教えてください。	(1) 河川環境管理シート作成の手引きの更新内容		◎		◎								◎
	(2) 河川環境管理シートの位置づけ		◎		◎								◎
	(3) 河川環境管理シートの活用状況		◎		◎								◎
Q5-1 護岸等を設置する際の工夫事例を教えてください。	(1) 護岸の前面に自然な河岸 水際部を形成する									◎			
	(2) 護岸が露出する場合は環境上の機能に配慮する									◎			
	(3) 施工時にも環境に配慮する									◎			
Q5-2 高水敷掘削や切下げを行う際に、掘削の効果を長持ちさせながら、河川環境の改善に寄与するための留意点を教えてください。	(1) 土砂の再堆積と掘削高さ					◎	◎						◎
	(2) 掘削地の樹林化					◎	◎						◎
	(3) 掘削高さと生息場					◎	◎						◎
	(4) セグメント1における砂州の掘削・切下げに関する留意点					◎	◎						◎
	(5) 高水敷掘削・砂州切下げにおける工夫事例					◎	◎						◎
Q6-1 人の利用という視点から、高水敷整備をどのように進めたらよいか、考え方や事例を教えてください。	参考事例1 阿武隈川 渡利水辺の楽校（福島県福島市）					◎	◎						◎
	参考事例2 遠賀川 直方の水辺（福岡県直方市）					◎	◎		◎				
	参考事例3 子吉川 癒しの川（秋田県由利本荘市）						◎						
Q6-2 通常の河川改修で伐採対象となる樹木を、保全・復元した事例を教えてください。	参考事例1 宮川 宮川堤の堤防拡幅と桜景観保全（三重県伊勢市）						◎	◎	◎				
	参考事例2 白川 緑の区間（熊本県熊本市）					◎			◎				

大河川Q&A 目次		凡例 ◎ 関連性が高い ○ 関連性がある	①多自然川 づくりの 基本的な 考え方	②現況評価・目標設定			③計画設計						④ 維持管理・ モニタリング
				現況評価	ビジョン共 有型の目標 設定	リファレン ス型の目標 設定	河道掘削	高水敷掘削 ・整備	引堤 ・築堤	樹木伐採 ・植樹 ・植生管理	護岸整備 ・侵食対策 ・水際工夫	堰 ・樋門樋管	
Q7-1 生態系ネットワーク（エコロジカル ネットワーク／エコネット）とはど のようなもので、どのように取り組 んだらよいか教えてください。	(1) 取り組みを成功させるポイント1～「指標種」となる生きものを選ぶ～			◎								◎	
	(2) 取り組みを成功させるポイント2～多様な主体との連携体制の構築～											◎	
	(3) 取り組みを成功させるポイント3～経済的な価値が生まれるような工夫～											◎	
Q7-2 河川事業における生態系ネットワ ーク構築の評価の考え方について教え てください。	(1) .事前評価、事後評価について		◎									◎	
	(2) .生態系ネットワークの評価手法について		◎									◎	
Q7-3 河川横断施設などに魚道を設置する 際に、どのような点に留意すればよ いのか教えてください。	(1) 魚道の設計にあたってのポイント										◎	◎	
	(2) 既設魚道の機能評価										◎	◎	
Q7-4 生物の多様性向上のために河道～水 路～流域の環境をつなぐ有効な方法 を教えてください。	(1) 堤外での取り組み				○	○						◎	
	(2) 堤内での取り組み									○		◎	
Q8-1 河川における樹木管理の基本的な考 え方について教えてください。	(1) 景観要素の変化								◎				◎
	(2) 河道内樹木の構成種								◎				◎
	(3) 河道内樹木の繁茂による河川機能の変化								◎				◎
	(4) 分布拡大速度								◎				◎
Q8-2 河道内樹木の再繁茂対策の方法を 教えてください。	(1) 河道内樹木の再繁茂					○			◎				◎
	(2) 再繁茂に至る2つの経路					○			◎				◎
	(3) 各樹種の特徴					○			◎				◎
	(4) 萌芽による再繁茂への対策と有効性					○			◎				◎
	(5) 種子の定着・生長による再繁茂への対策					○			◎				◎
	(6) モニタリングと維持管理					○			◎				◎
Q8-3 外来植物の除去において、どのよう に目標設定をすべきか教えてください。	(1) 影響 被害（またはそのおそれ）の把握		◎						◎				◎
	(2) 対策の緊急性の検討								◎				◎
	(3) 対象種 対象箇所の検討								◎				◎
	(4) 目標の設定			◎					◎				◎
Q8-4 外来植物の除去の基本的な考え方を 教えてください。	(1) 外来種の現状について								◎				◎
	(2) 外来種対策の考え方								◎				◎
	(3) 防除のポイント・考え方								◎				◎
	(4) ハンドブックに掲載されている外来植物10種について								◎				◎
	(5) 外来種防除の例 アレチウリ								◎				◎
Q9-1 自然再生等の取り組みを実施した際、 その効果を計るためのモニタリング 計画を考えるとときのポイントを教え てください。	(1) 調査デザイン		◎										◎
	(2) Before-After (BA) デザイン		◎										◎
	(3) Control-Impact (CI) デザイン		◎										◎
	(4) Before-After-Control-Impact (BACI) デザイン		◎										◎
	(5) Before-After-Reference-Control-Impact (BARCI) デザイン		◎		◎								◎
	(6) 繰り返し		◎										◎
	(7) 順応的管理（アダプティブマネジメント）		◎										◎
Q10-1 3次元データを活用した多自然川づ くりの現状について教えてください。	(1) 調査												
	(2) 設計												
	(3) 施工												
	(4) 維持管理（3次元管内図）												◎